

審議会等の会議録			
会議の名称	平成30年度 第2回座間市地域公共交通会議		
開催日時	平成31年1月24日(木) 10時00分～11時30分		
開催場所	座間市役所4階 第2会議室		
出席者	(出席) 岡村委員、北川委員、加藤(努)委員、加藤(真)委員、太田委員、波形委員、高橋委員、吉田委員、小松委員、加藤(秀)委員、野口委員(代理) 齋藤委員(代理:山下氏)、星名委員(代理:金岡氏)、山口委員(代理:西野氏)		
事務局	遠藤市長 北川都市部長 浅黄都市計画課長 中里都市計画係長 大矢技師 片野主事 委託業者(株式会社国際開発コンサルタント 関、三瓶)		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴人数	なし
非公開・一部公開した理由	_____		
議題	審議事項 座間市コミュニティバス運行見直しについて 報告事項 座間市総合交通体系調査について		
資料の名称	資料1～3 ほか参考資料		
会議の内容 ※会議次第及び発言要旨等	<p>事務局 それでは、定刻となりましたので、ただ今から座間市地域公共交通会議を開催させていただきます。</p> <p>本日の委員さんの出席状況は、14名中14名で定足数に達しております。従いまして「座間市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項」により、本日の会議は成立いたしますことを報告させていただきます。</p> <p>本日は、各委員さんにおかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして、誠に有難うございます。進行につきましては、お手元の次第にもとづきまして、進めさせていただきますので、よろしくお願ひ申し上げます。なお、本審議会は、「座間市市民協働推進条例」の規定に基づき、会議の全部又は、一部を公開することにされておりますので、あらかじめご了承お願ひいたします。</p> <p>新たに委員として委嘱させて頂いた方もいらっしゃいますので、まず始めに、委員の皆様の自己紹介をお願ひいたします。岡村教授から時計回りにて順次、お願ひいたします。</p> <p>( 各委員自己紹介 )</p>		

	<p>事務局    ありがとうございます。次に事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">（事務局紹介）</p> <p>事務局    続きまして、市長より挨拶申し上げます。</p> <p style="padding-left: 40px;">（市長あいさつ）</p> <p>事務局    ありがとうございます。まず、初めに議長、副議長の選任を行いたいと思います。本会議の議長、副議長については、前回会議に引き続き、議長は岡村委員、副議長は北川委員にお願いいたしたく考えますが、委員の皆様、よろしいでしょうか。よろしい方は、挙手をお願いいたします。</p> <p style="padding-left: 40px;">（挙手全員）</p> <p>事務局    挙手全員ですので、岡村委員及び北川委員は、席の移動をお願いします。それでは、続きまして岡村議長よりご挨拶をお願いいたします。</p> <p style="padding-left: 40px;">（議長あいさつ）</p> <p>事務局    ありがとうございます。大変恐縮ではございますが、市長は他に公務がございますので、ここで退席させていただきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">（市長退席）</p> <p>事務局    ここで、本日の配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p style="padding-left: 40px;">（資料確認）</p> <p>事務局    では、これからの議事進行につきましては、座間市地域公共交通会議設置要綱第6条第1項に基づきまして、岡村議長にお願いいたします。</p> <p>議 長    それでは、これより議題に入ります。報告事項「座間市総合交通体系調査について」事務局の説明を求めます。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <span style="font-size: 2em;">[</span> <p style="margin: 0;">（事務局説明）</p> <p style="margin: 0;">概要：アンケート調査等の実施について報告</p> <span style="font-size: 2em;">]</span> </div> <p>議 長    ただ今、事務局から説明がありましたことについて、ご意見、質問等ありますでしょうか。</p> <p>委 員    アンケートの内容については、コミバスに乗ったことがある人だけではないことも考慮する必要があるかと思っておりますので、次回以降検討してください。</p>
--	---

議 長 ほかに無いようですので、続けて、審議事項「座間市コミュニティバス運行見直しについて」事務局の説明を求めます。

(事務局説明)

概要：コミュニティバスの運行状況等を報告。

運行状況を鑑みて、以下の方針で見直しを実施する。

- ① 各コース間で利用者の少ない路線から乗りこぼしの多い路線へ時間帯で車両を融通することで、経費を増やさずに増便等を図る。
- ② 2次救急病院への乗入（相武台病院・相模台病院）
- ③ 安全確保のため、緑ヶ丘のコースを廃止

議 長 ありがとうございます。今回の変更の主な点は、各路線で便数の増減があり、病院の乗入等に伴うコースの変更があるという2点です。何かご意見ありますでしょうか。

委 員 さがみ野コースへの増便があるようですが、この参考案に書かれている増便の時間というのは、特に乗降の多い時間にあたるのですか。

事務局 お手許の資料は具体的な時間を示すものではなく、あくまでこのような形になるという参考案でありますので、時間帯までの詳細な分析は行っておりません。分析は1日当たりの乗りこぼし等の数で行っています。

委 員 乗りこぼしが多い時間帯等は具体的に把握しているのですか。

事務局 集計の処理上、すべては把握していません。ただ、時間帯的な偏りは若干ありますが、1日を通して乗りこぼしが発生しているようです。

委 員 前回の見直しにあたっては話題にあがった内容ですが、電車との接続時間や天候の関係性も存在していると思います。だから単に12時台に1本増やせばそれでよいというものではないと思います。

事務局 実情としては、天候や休日等の影響があるのは把握しております。しかし今回の増便の方法としては、経費や車体数を増やさないことを前提としており、他コースを減便したうえで、そのバスを乗りこぼしの多いさがみ野コースへ入れる形となっています。そのため、他コースとの兼ね合いで増便できる時間帯もある程度限られてしまうという事情も存在しております。

委 員 増便ではなく、ポンチョをさがみ野コースへも導入するのが望ましいのではないですか。

	<p>事務局 我々としてもそれが最善の方法であることは理解しておりますが、さがみ野コースは狭隘道路が多く、ポンチョの走行は現実的に不可能となっています。そのため、現状では増便で対応したいと考えています。</p> <p>委員 この増便の方法がベターであるということが分かる資料を次回までに用意願います。また、相模が丘のコースでは実質増便とのことですが、左右が逆になることで利便性に影響はでないですか。</p> <p>事務局 ポンチョ側のコースが増便するので、利便性については向上するものと考えております。また左右のコースが逆転する点については、相模が丘方面はポンチョのコース、病院はハイエースのコース、というような乗り分けをしてもらえるようアナウンスしていきたいと考えています。</p> <p>委員 病院へ乗入れることで逆に利用減となりませんか。そのあたりが今回の資料では判断できないので、次回までに整理してほしいと思います。また、それこそ全時間病院へ乗入れるのではなく、利用想定が少ない時間は乗入れない等の検討や、仮にそれができないならできない理由の整理も合わせて行ってほしいです。</p> <p>事務局 今回の提示した時刻修正案は、あくまで例でありますので、内容は確定事項ではありません。次回までに整理させていただきます。</p> <p>委員 では次回は確定した時刻表をお願いします。</p> <p>委員 緑ヶ丘のバス停が廃止されるということですが、利用者への、特に代替手段の乏しいかみが沢公園周辺の救済措置はあるのですか。</p> <p>事務局 今回の廃止については、あくまでも道路狭隘著しく走行上危険であるという、安全上の理由に基づき廃止を行おうと考えています。</p> <p>委員 その周知を図っていく、ということでしょうか。</p> <p>事務局 自治会等を通して周知を行う予定です。</p> <p>委員 経費に関することですが、今回の変更は経費の増加を抑えたいという変更を行うということですが、固定費等がどのくらいかかっているのかわかるような内訳資料はないですか。</p> <p>事務局 本日の資料中にはありませんが、経費は主に運転手さんの雇用やバスの運行費等のランニングコストとなっています。固定費については、例えば、さがみ野コースで見ると6～7%程度と考えられますが、次回の資料で内訳を整理させていただきたいと思います。</p> <p>委員 今回の増便の方法としては他コースを減便して、別コースへ増便するというようなことですが、なるべく空いている時間のバスをそれぞれ他コースへ振り分けるような方法をとったほうがよいのではないですか。</p> <p>事務局 具体的な案については、次回までに提示させていただきます。</p>
--	--

	<p>委員 増減等による利便性への影響についての根拠資料を次回までに用意してほしいと思います。また減便される E コースは、例えば反対周りのコースで一度市役所を経由してもそのまま乗り換え不要で乗ってられるようにする等の検討、それができないのであれば減便や利用方法についてのアナウンスを行う必要があると思います。</p> <p>また同様に、相模が丘の病院へ乗入れるルートについても利用促進を促す等、それぞれ細やかなアナウンスが必要と考えます。さらに言うと、今回の見直し結果でうまくいかなかった場合のことを想定して、評価制度等を検討すべきではないでしょうか。作って終わり、ではなく継続的な運用をお願いしたいと思います。</p> <p>事務局 今後は、運行状況を年毎に集計のうえ、報告等を行っていきたいと考えております。評価制度については、どの側面から評価するのか等の方法論からまず検討してまいります。</p> <p>委員 それと少なくとも年に 1 回程度は、会議を開催して報告をするなど、まず事務局提案の変更方針ありきで考えるのではなく、継続的にこの会議で検討していくようにすべきだと思います。</p> <p>委員 この会議の目的は移動制約者の移動の補助を推進することにあるのではないですか。なので市長のおっしゃっていた最大公約数の案を検討するだけでは足りないように思われます。</p> <p>議長 その点については福祉面からのアプローチが必要かと思います。福祉系の協議会等も存在しているかと思いますが、市の職員はその差異が理解できていても、一般の人には伝わりづらいです。なので、福祉的な側面についても議事録等に取り上げて残していくようにしてください。</p> <p>事務局 承知しました。</p> <p>議長 ほかに質問等ありませんでしょうか。では、以上で、本日の議題は全て終了しましたので、これからの進行は事務局にお返しします。</p> <p>事務局 ありがとうございました。以上で平成 30 年度第 2 回座間市地域公共交通会議を終了させていただきます。</p> <p>なお次回の日程については誠に勝手ながら 3 月 25 日とさせていただきますので、ご出席のほどよろしく願いいたします。</p> <p>以上、本日はお忙しいなか、ご出席ありがとうございました。</p>
--	---